

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【川通中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が低い。 【指導上の課題】 取得した知識・技能を活用する活動を設定しにくい。	⇒ ・「前時の内容の確認」「基礎基本の確認」や「授業の振り返り」等を教員が意識し、生徒に働きかける時間をとる。【毎授業で5分実施】 ・基礎学力の向上を目指し、川通中チャレンジカップ(KcC)を5教科で実施する。【每学期1回以上実施】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 文系科目では、文章で答える記述問題、理系科目ではグラフや図を用いた問題の解答に課題が見られた。 【指導上の課題】 結果をグラフや図にまとめる活動や考察や考えをまとめる活動が少ない。	⇒ ・「グラフや表からの読み取り方」「考察など考えをまとめる文章の型」等を具体的に教える。【每学期1回以上実施】 ・生徒が作成したレポート等に取り組みの際、評価の観点を示し、生徒が考えたプロセスにコメントを付記して評価する。【毎回実施】 ・文系科目では、自分の考えを表現する機会を取り入れる【每学期複数回実施】 ・留級のない生徒を過して考えたり、表現したりすることができるようにするために、共同編集を用いた活動を取り入れる。【R6年度さいたま市学習状況調査「字綴の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が70%以上】

<小6・中3>(4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現		

結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)